平成30年１１月１３日

報道資料

水俣・芦北地域雇用創造協議会

（公社）熊本県観光連盟

**芦北の宝物「観光うたせ船」**

**定時便運航で旅行商品へ！**

　熊本県と（公社）熊本県観光連盟では、2019年7月から9月にかけて開催する熊本デスティネーションキャンペーン「もっと、もーっと！くまもっと。」を契機とした熊本県への観光誘客を目的として、着地型旅行商品（※）の開発・販売を行っているところです。

この度、その一環として、先日、試験運航を開始した芦北町の「観光うたせ船定時便」を来年4月からの旅行商品化につなげるため、水俣・芦北地域雇用創造協議会や芦北町等と連携し、大手旅行会社等を招へいする“現地視察会”を下記により実施します。

記

１　実施日　　平成３０年１１月１６日（金）１０：４０～

２　招待者　　大手旅行会社の商品造成・仕入担当者（約20名）

３　行　程　　別紙のとおり

　※着地型旅行商品

　　地域の観光事業者や生産者等が、地域性豊かな観光素材を使って、観光ニーズを加味して開発した旅行商品（例：農業体験、イルカウオッチング等）

＜お問い合わせ先＞

水俣・芦北地域雇用創造協議会　事務局員　中野　公彦

ＴＥＬ　０９６６－８２－５５７２　ＦＡＸ　０９６６－８２－３５９６

E-MAIL nakano-k-dh@pref.kumamoto.lg.jp

　　（公社）熊本県観光連盟

　　　　熊本デスティネーションキャンペーン推進事務局

　　　　　脇・羽田・中野

ＴＥＬ　０９６－３８２－００７０　ＦＡＸ　０９６－３８２－２６６３

(株)佐藤製材所　代表取締役　佐藤 三郎

〒869-5461　熊本県葦北郡芦北町大字芦北2190

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ　0966-82-2310

FAX　　　0966-82-2073

お問い合わせ先

水俣・芦北地域雇用創造協議会

事務局員　中野　公彦

ＴＥＬ　０９６６－８２－５５７２

ＦＡＸ　０９６６－８２－３５９６

電子メール nakano-k-dh@pref.kumamoto.lg.jp

お問い合わせ先

水俣・芦北地域雇用創造協議会

事務局員　中野　公彦

ＴＥＬ　０９６６－８２－５５７２

ＦＡＸ　０９６６－８２－３５９６

電子メール nakano-k-dh@pref.kumamoto.lg.jp

お問い合わせ先

水俣・芦北地域雇用創造協議会

事務局員　中野　公彦

ＴＥＬ　０９６６－８２－５５７２

ＦＡＸ　０９６６－８２－３５９６

電子メール nakano-k-dh@pref.kumamoto.lg.jp

(株)佐藤製材所　代表取締役　佐藤 三郎

〒869-5461　熊本県葦北郡芦北町大字芦北2190

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ　0966-82-2310

FAX　　　0966-82-2073

(株)佐藤製材所　代表取締役　佐藤 三郎

〒869-5461　熊本県葦北郡芦北町大字芦北2190

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ　0966-82-2310

FAX　　　0966-82-2073

（裏面に続く）

（別紙）行程・視察予定箇所

　平成30年11月16日（金）

１０：００　新水俣駅新幹線改札口前集合・バス発

　　１０：３０　佐敷港着

　　１０：４０　うたせ船乗船（帆上げ、網入れ）

　　１２：１０　うたせ船下船

　　１２：２０　芦北うたせ直売食堂「えび庵」（昼食）

　　１３：００　えび庵発

　　１３：３０　藤崎家住宅「赤松館」（国登録有形文化財）着・見学

　　１４：２０　赤松館発

　　１４：３０　製塩所「塩むすび館」着・体験（塩づくり）

　　１５：１０　塩むすび館発

　　１５：５０　新水俣駅着・帰路



**～「うたせ船」～**

紺碧の大海原。真っ白い帆に潮風を受け、

ゆっくりと滑るように進む「うたせ船」。

白いドレスをまとった海の貴婦人をいう

異名を持つこの船は、不知火海のシンボル

となっています。

明治初期に芦北地方に伝わった「うたせ船漁法」は、海の底に入れた７つの袋網で海の底の獲物を引き上げる伝統の底引き漁法。その始まりは、今から約４００年前。瀬戸内海の芸州（げいしゅう）流しという漁法が起源といわれています。

　　今回の定時便試験運航は、これまでも実施している貸切運航とあわせて、熊本デスティネーションキャンペーンを契機とする個人型旅行商品向けの着地素材としてもご活用いただくことを目的としています。